

今日は三島神社！

筑豊の
素敵な神様
紹介します



三島神社



神社の由来 History

三島神社は全国に402社余りあると言われ、大宰府管内誌によれば菰田三島宮とあり西暦九九十年十二月三日寄進施主大宮司・平重道の手によって当時の筑前國穂波郡金丸庄薦田村（現在の菰田）に三島神社が誕生したとあります。ご祭神の大山祇神は今から約990年以上前から鎮座されたととても古いお宮で境内には神木と言われるほどの大きな松の木とその松の木から伸びる枝葉は四方に広がりこの近郊では他に見ることがない大木でした。他にも、神馬を入れる馬屋に頓宮があり、昔は流鏝馬（やぶさめ）や神楽（がらく）などが奉納されるなど盛大なお祭りが行われていました。



大山祇神と木花開耶姫神

伊弉諾尊と伊弉冉尊との間に生まれた神様が大山祇神とされています。大山祇神とは大いなる山の神、別名では和多志大神と言われ『わた』は海の意味もあり山と海の両方を司る神とも言われています。三島神社のご祭神の中に大山祇神の娘、木花開耶姫神は木の花が咲くように美しい女性という意味がありその生涯の物語には、子供を産む覚悟と力強さが描かれているのです。そして、木花開耶姫神は富士山とも深い関係があり第7代孝靈天皇のころ、富士山の噴火により人々が恐れて逃げ出したことから、第11代垂仁天皇が木花咲耶姫を富士山の麓に祭って山霊を鎮めたとされています。鹿児島県では第5回「金峰山フェスタ」を記念して建てられた木花咲耶姫の銅像もあるのです。

神社のあれこれ教えます！

三島神社（みしまじんじゃ）・三島社（みしましゃ）は、「三島」を社名とする神社。大半は伊予の大山祇神社（大三島神社）か伊豆の三嶋大社と関係のある神社です。

教えて御祭神

- 大山祇神（おおやまつみのかみ）＝山の神・山神
- 木花開耶姫神（このはなさくやひめのかみ）＝火の神
- 溝織姫神（みぞくいひめのかみ）＝大物主の妃

どこにあるの？

住 所 / 〒820-0016飯塚市菰田東2-8-19
T E L / 0948-22-7304

宮司さんからひとこと♪



人生、勇気が必要だ！

宮司 須藤 剛之さん